中野区議会 令和５年 第４回定例会 での一般質問の一部（全文はQRコードから）

ホームページ リニューアルについて

10 月 20 日に 9 年ぶりに中野区のホームページがリニューアルされた。今の時代に合わせたネットにおけるユーザー心理プロセスの考え方などを理解いただいた上でのリニューアル。デザイン、レイアウト、UI、スピード、見やすさ、階層構造、構成、スマホ閲覧を意識したレスポンシブ対応などはすばらしく、利用者もうれしく思っているはず。その一方でローンチとしては多くの問題があった。

【質問】コンテンツやバックヤードの検索部分などが不完全のままリリースされた。正しい情報が届かない、欲しい情報にたどり着けないなど、行政のウェブサイトとしてはあり得ない状態でのリリース。サイト内検索からリンク先に飛ばない事象も多発したが、なぜリリースに踏み切ったのか？

【答弁】実際にサイトを公開しないと確認できない部分があると判断したため。

本来、すべてのシステムとコンテンツを業者が納品し、区がコンテンツの振舞いや CMS の挙動が正しいかなどのユーザーテストを実施、不具合があれば委託業者にフィードバック、このやり取りを何度も繰り返して納品物の精度を上げさせ、100 パーセントに近づけられた状態で納品、検収するという形をとるべき。

【質問】コンテンツの納品に関して仕様書を作成する場合、税金や知的財産など区の財産を守る上でも、検収のタイミング、責任の範囲、サービスレベルアグリーメント（SLA）、瑕疵担保期間など、元となる契約書のテンプレート類をしっかりと改定した上で、今後プロポーザルなどの募集をかけるべきだと思うがいかがか？

【答弁】次回の更新に際して、仕様書をつくる際に、他自治体の事例を参考とし、また CIO オフィスとも表記について充分協議するなど、諸条件や工程を整理した上で募集を行っていきたい。

ローンチ後のコンテンツ更新は、制作時同様に各所管が自由に行える形。この更新手法は情報がタイムリーに出せるというメリットはあるものの、情報統制や広報戦略が立てづらいというデメリットもある。今回のように各所管に最終チェックを任せる手法は、今後は再考すべき。

【質問】運用フェーズに入った今、イベントや情報発信のタイミングなどを戦略的に考えられ、さらには発信情報の正確性を担保できるよう、ホームページのトータル管理を広聴広報課に一元化すべきだと考えるが、いかがか？

【答弁】区民に届く情報発信は向上し、若手職員のマインドも醸成されつつある一方で、部署によっては情報発信力に差があり、また発信する情報によっては区民目線となっていないことも認識している。広聴広報課によるホームページの一元管理化については、他自治体の事例を参考にしながら今後の検討課題としたい。

【質問】データセンターのデュアル化なども必要だが莫大なコストもかかるので、新区役所ではサーバールームにコールドスタンバイのサーバを用意し、簡易的なホームページを作り、IDC 側に何か不具合が起きてホームページが閲覧できなくなった場合に、バックアップ用のホームページサーバを立ち上げられるように準備をしたらいかがか？

【答弁】ご指摘を踏まえ、バックアップ用サーバについてはさまざまな手法があるので検討を進めていく。

中野駅北口繁華街の 課題解決について

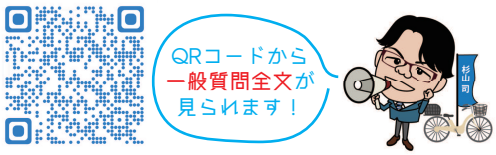
中野の誇る北口の繁華街は一段とにぎわいを増してきて活気にあふれているが、治安上の様々な課題も挙がっている。

【質問】現在、中野駅北口の繁華街では、通行人に迷惑を及ぼす客引きや、ごみの不法投棄、違法駐輪、テーブルを路上に出して客に飲食させている店舗などの諸問題があるが、区としてどの程度把握しているのか、どう介入しているのか？

【答弁】客引きやごみの不法投棄、違法駐輪や道路不正占有などの問題は把握しており、事案に応じて対応を依頼している。

【質問】このエリアでの制服警察官のパトロール強化を行って頂けるよう中野警察に強く要請して欲しいがいかがか？

【答弁】警察署に対してパトロール強化を依頼していくとともに、関係機関との連携による夜間防犯パトロールの実施により、中野駅北口繁華街における犯罪の抑止と課題の解決に取り組んでいきたい。



商店街応援団・文化芸術マニア・DXスペシャリスト・地域活動紹介等

商店街や町会イベントへの参加

事務所のある桃園商店街では恒例ハロウィーンイベント開催！今年もちびっ子たちが可愛かった。そして今年は 4 年ぶりに桃園町会や宮桃町会などでお餅つきも開催。地域活動が徐々に復活して楽しかったです。

中野が発祥の地「つけ麺」で…

10 年前から中野区の街おこしとして中野が発祥の地「つけ麺」を推してきましたが、日本つけ麺学会が創設され、専務理事を拝命しました。1 月丸々 JCOM 番組「長っと散歩」で区長とつけ麺を食べながら語ってます。

活動の中心は商店街の応援団

「商店や飲食店が元気な街は住んでいる人も笑顔になれる」をモットーに活動しています。中野区独自のデジタル通貨の推進もしています。先日、区長と共に深夜 0 時から開催された飲食店の会合にも参加しました。

ゴミ拾い＆夜の地域パトロール

主に月曜日の朝には事務所周辺道路や囲桃園公園のゴミ拾いを実施。金曜日の夜 8 時からは桃園町会の防災防火部長として雨天荒天を除き、毎週拍子木を叩き商店街や桃園エリアの夜のパトロールを実施しています。